

外壁診断調査業務仕様書

- 1 業 務 名
郡山高校外壁診断調査業務委託
- 2 履行場所
福島県郡山市大槻町字上篠林3番地内
- 3 期 間
90日間
- 4 目 的
建物壁面仕上げ材の浮きなどの劣化状況を調査し、仕上げ材の落下事故等の防止と、建物維持管理及び特殊建築物等定期調査の資料とする。
- 5 調査範囲
郡山高校教室棟の外壁
原則として当該建物の外壁全面とする。なお、調査困難な部位等がある場合は国土交通省告示第282号の別表2(11)に定められる落下により歩行者等に危害を加えるおそれのある部分を調査範囲とすることができる。
- 6 調査方法
「剥落による災害防止のためのタイル外壁、モルタル塗り外壁診断指針」(国土交通省)を参考に外観目視法および手の届く部位は、テストハンマーによる打診法調査を実施する。
 - (1) 予備調査(調査前日または調査前)
 - ① 建物の構造及び周辺状況により調査できない部分の確認。
 - (2) 現地調査
 - ① 現地調査：目視調査
劣化・損傷状況を直接肉眼で確認する。高所などで肉眼の確認が難しい場合は眼鏡など使用する。
 - ② 現地測定：打診等調査
手の届く部位をテストハンマーにより打診し、発生音から浮き及び密着不良部等の有無を判断する。
 - (3) 測定結果の診断
 - ① 目視調査、打診調査により収集した測定結果を取りまとめる。
 - (4) 報告書作成
調査結果報告書を作成・提出する。なお、報告書には以下事項を記載する。
 - A 速報(随時)
 - B 調査結果のまとめ
 - a 建物概要
 - b 調査会社名、調査責任者、調査担当者名
 - c 調査部分、調査除外部分
 - d 調査実施日、調査時の天候等
 - e 調査結果を図示した調査結果図(国土交通省書式：別添1様式A3参考)
 - f 調査結果図に対応する浮き、はく離部の状況写真台帳(国土交通省書式：別添2様式A4参考)
 - g 結果考察、異常部の部位明示(可視画像等に明示)(任意様式：別添2様式A4参考)

7 提出書類

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) 調査業務計画書 | 1 部 |
| (2) 業務工程表 | 1 部 |
| (3) 管理技術者届 | 1 部 |
| (4) 調査結果報告書 | 2 部 (デジタルデータを含む) |
| (5) その他必要と認められるもの | 1 式 |

【参考文献】

- ・特殊建築物等定期調査業務基準 (2008年改訂版)
(財) 日本建築防災協会
- ・タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル 改訂第3版
(社) 建築・設備維持保全推進協会